

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：光村図書 書 I

教科 芸術 の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時間	
		漢	漢	仮							
前期	<p><巻頭></p> <ul style="list-style-type: none"> 書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。 芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 <p><漢字の書・はじめに></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。 	<p>書道で学習すること 書写から書道へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 A (表現) B (鑑賞) 全て 共通ア・イ <p>漢字の変遷とさまざまな書体</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 Bア (ア) イ (イ) ウ (ウ) 共通ア・イ 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○		1
	<p><漢字の書・楷書></p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 	<p>唐の四大家に学ぶ楷書の基本 『孔子廟堂碑』 『九成宮醴泉銘』 『雁塔聖教序』 『顔氏家廟碑』 『牛橛造像記』</p> <p>半紙作品制作 半切1/4作品制作 表装について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 A② ア (ア) イ (イ) ウ (ウ) (イ) Bア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (イ) (エ) 共通ア・イ 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○		15
	<p><漢字の書・創作する></p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 漢字の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養 	<p>古典を生かした創作 作品の構想 書風・用具用材・全体構成 半紙作品制作 色紙作品制作 鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 A② 全て Bア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (イ) (エ) 共通ア・イ 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、古典に特有の字形や線質の特徴を理解している。 漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 	○	○		7
	<p><漢字の書・行書></p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 	<p>『蘭亭序』 『風信帖』 三筆・三蹟の書</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 A② ア (ア) イ (イ) ウ (ウ) (ア) (イ) Bア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (ウ) (エ) 共通ア・イ 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○		5
後期	<p><仮名の書></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養 	<p>仮名の成立と種類 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 『蓬萊切』 『高野切第三種』 料紙作品制作</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導事項 A③ア (ア) イ (イ) ウ (ウ) (ア) (イ) Bア (ア) (イ) イ (ア) (イ) (イ) (エ) 共通ア・イ 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○		12

<p><漢字かな交じりの書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>漢字仮名交じりの書とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 A(1)ア (ア) (ウ) イ (イ) ウ (ア) (イ) Bア (ア) イ (ア) (イ) 共通ア・イ 好きな言葉を書こう 色紙作品制作 ・指導事項 A(1) 全て B全て 共通ア・イ 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○	<p>8</p> <hr/> <p>合計</p> <p>48</p>
--	--	---	---	---	---	---	------------------------------------